

平成25年7月19日

登録有形文化財（建造物）の登録について

文化審議会（会長 みやた りょうへい 宮田 亮平）は、平成25年7月19日（金）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに173件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申を行いました。以下は登録有形文化財（建造物）の概要と主な事例、一覧表です。

この結果、近日中に行われる官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、9,399件となる予定です。

1. 答申が行われた登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 数	173件 29都府県52市町（区）	9,399件 47都道府県802市町村（区）

○時 代 別

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	35	49	30	59	173
累 計	1,610	3,057	1,966	2,766	9,399

○種 別

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新 規	0	28	17	3	1	5	8	1	66	44	0	0	173
累 計	110	902	1,197	365	180	300	311	285	4,276	1,225	179	69	9,399

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	140	0	33	173
累 計	7,364	540	1,495	9,399

2. 主な事例

- ① 高い内部空間をもち、彫刻も秀逸な仏堂
長谷寺大仏殿 秋田県由利本荘市

地元で「赤田の大仏」として親しまれている長谷寺の大仏殿で、明治26年に再建された。内部に高い吹抜空間をもち、高さ約8メートルの十一面観音立像を祀る。二重屋根の大型仏堂で、上部には外から観音像を拝するための窓を設け、また正面入口周りは華やかな彫刻で飾られている。



- ② 関東大震災からの復興の象徴となった学舎
東京工業大学本館ほか 東京都目黒区

東京工業大学が、関東大震災後にキャンパスを移転した際の中心的な建物が本館である。東京工業大学復興部が設計し、昭和9年、耐震性を考慮して鉄骨鉄筋コンクリート造で建設され、左右対称で威厳を備えた立面構成をもつ。大岡山西一号館（旧分析化学実験室）、七〇周年記念講堂も併せて登録する。



- ③ 沿線住民の生活を支える地方鉄道の駅舎
福井鉄道北府駅本屋 福井県越前市

福武電気鉄道西武生駅として大正13年に開業した駅舎。待合室および駅務室からなる標準的な形式の駅舎だが、近年、駅務室側がギャラリーに改修され、乗客や地域住民に親しまれている。待合室の小壁に横長窓をあげ、また待合室脇の旧売店の出窓をショーウィンドー風につくるなど、特徴的な外観を持つ。



④ 朝日町のシンボルとなっている現役円形校舎
朝日小学校円形校舎 三重県朝日町

円形平面建築の設計における第一人者であった、坂本鹿名夫^{さかもと かの お}が手がけた円形校舎である。鉄筋コンクリート造4階建てで、3階までは特別教室を配し、最上階は一室の大空間としており、見応えがある。多数の円形建築を設計した坂本の最盛期の作品のひとつである。



⑤ 県都を代表する格調高い庁舎建築

和歌山県庁舎本館 和歌山県和歌山市

正面に構える主棟の後方に、議場などの建物3棟を接続するE字形の平面で昭和13年に建築された。外壁に釉薬タイルを貼り、壁頂部等をテラコッタで飾る。式典などを行う大広間の正庁と、県議会議場、知事室等も良質な意匠となっている。



⑥ 太鼓櫓^{たいこぐら}をのせた正面構えが特徴的な活動写真館
旭館 愛媛県内子町

製蠟町として著名な内子町の市街地に所在する活動写真館。大正15年に建てられ、昭和43年頃まで営業した。当初の客席は畳敷きであったが、昭和20年頃に椅子式になったという。3段構成の壁面と、六角形平面の太鼓櫓をのせた正面構えが特徴的。



＜担 当＞文化庁文化財部参事官（建造物担当）
参事官 村田健一 （内線 2790）
登録部門 武内正和、稲垣智也、大石崇史（内線 2797）
調査部門 長尾充、西岡聡（内線 2793）
登録係 富田文雄（内線 3160）
電 話：03-5253-4111（代表） 03-6734-2792（直通）

名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基 準
旧南部家別邸主屋	岩手県盛岡市	M41/S55改修	旧盛岡藩主南部家の別邸建築で、和洋の意匠を織り交ぜた上質な内部空間を持つ。	建築物 住宅	二
長谷寺大仏殿	秋田県由利本荘市	M26	「赤田の大仏」として親しまれる。大仏殿は観音立像を祀る大型仏堂で、向拝周囲に立体的な彫刻を飾る。	建築物 宗教	一
瀬上嶋貫本家住宅主屋	福島県福島市	M32	嶋貫家は奥州街道瀬上宿で金融業などを営んだ。主屋は街道側の大きな妻壁に下見板を張り、破風の拝みの飾りや窓庇などに洋風意匠を加味する。内部は上下階とも六間取系平面で一部を吹抜とし、神棚、座敷飾、欄間などいずれも上質な造作になり、2階洋間の内装も見応えがある。離れは、座敷飾に黒柿などの銘木を多用して施工も優れ豪華な造作とする。屋敷構えを構成する文庫蔵や表門、土塀なども併せて登録する。	建築物 住宅	一
瀬上嶋貫本家住宅離れ		T		建築物 住宅	一
瀬上嶋貫本家住宅文庫蔵		M初		建築物 住宅	一
瀬上嶋貫本家住宅表門		M初		工作物 住宅	一
瀬上嶋貫本家住宅門及び土塀		M中		工作物 住宅	一
佐藤家住宅主屋	福島県福島市	M6	佐藤家は古くから農業を営んだ旧家で、福島県知事も輩出した。広い前庭に南面する茅葺屋根の主屋は、桁行23mを超す規模を持つ雄大な構えである。東寄りを土間として西側に居室を並べ、広いブツマでは重厚な軸組をみせる。量感のある茅葺屋根がひときわ目をひく大型民家で、敷地内の離れ、文庫蔵、味噌蔵とともに登録する。	建築物 住宅	一
佐藤家住宅離れ		S7		建築物 住宅	一
佐藤家住宅文庫蔵		M8		建築物 住宅	一
佐藤家住宅味噌蔵		M6		建築物 住宅	一
岡直三郎商店大間々工場店舗兼主屋	群馬県みどり市	M中/M33頃増築	岡直三郎商店は醤油醸造を手がける。店舗兼主屋は明治28年の大火を免れた建物で、2階正面の左右に横長の格子窓を配し、両端に蛇腹付の袖うだつを設ける。文庫蔵は主屋とともに、良好な街路景観を形成している。	建築物 産業2次	一
岡直三郎商店大間々工場文庫蔵		T2		建築物 産業2次	一
十一屋北西商店店舗	埼玉県川口市	S5頃/S30頃改修	旧鳩ヶ谷宿に位置する。店舗は1階正面に成の高いケヤキの差物を渡し、2階は繊細な格子をたて、軒は上下階とも出桁造とする。石造風の外観をもつ蔵とともに、宿場の面影を伝える。	建築物 産業3次	一
十一屋北西商店蔵		S5頃		建築物 産業3次	一
旧岩崎家末廣別邸主屋	千葉県富里市	S2	当地で末廣農場を経営した岩崎久彌の別邸。主屋は中庭の西側に玄関を、南側に座敷を並べ、さらに東南に座敷などを張出す。東屋は数寄屋意匠を加味した開放的な建物。石蔵は木造の周囲に大谷石を積み、軒蛇腹まで丁寧にスクラッチタイルを貼る独特な形式。	建築物 住宅	二
旧岩崎家末廣別邸東屋		S初/H7改修		建築物 住宅	一
旧岩崎家末廣別邸石蔵		S初		建築物 住宅	一
祐天寺本堂	東京都目黒区	万延元(1860)/M27移築・M31・M45増築・S35・H21改修	明頭山と号する浄土宗寺院。本堂は、江戸末期に再建された御霊屋を移築したと伝える宝形造の内々陣に、明治31年に入母屋造の外陣、同45年にそれらを繋ぐ内陣を増築した複合建築。内々陣の室内は出組に折上格天井とし、幕末に活躍した絵師の筆による草花図等で飾る。書院は座敷の周囲に縁を廻らし、大振りのトコを構えるなど風格を備えている。地藏堂、地藏堂門には江戸町火消の各組の纏の絵や彫刻をあしらい、地藏堂が江戸町火消の崇敬を受けていたことを伝える。格式ある構えの表門や、要所の彫刻が目を引き水屋も併せて登録する。	建築物 宗教	一
祐天寺書院		M28/H21改修		建築物 宗教	一
祐天寺地藏堂		天明8(1788)/寛政12(1800)増築		建築物 宗教	一
祐天寺地藏堂門		E末		工作物 宗教	一
祐天寺表門		M前		工作物 宗教	一
祐天寺水屋		弘化3(1846)		工作物 宗教	一
東京工業大学本館	東京都目黒区	S9	東京工業大学は、関東大震災後に校地を蔵前から大岡山へ移した。本館、西一号館は東京工業大学復興部の設計になる。本館は鉄骨鉄筋コンクリート造3階建てで、四方の各面を相称の立面として整え、本館としての威厳を備える。西一号館はロマネスク風の外観になる。谷口吉郎設計の七〇周年記念講堂は、縦長窓を雁行配置した立面が特徴的。	建築物 学校	二
東京工業大学大岡山西一号館(旧分析化学実験室)		S6		建築物 学校	二
東京工業大学七〇周年記念講堂		S30		建築物 学校	二
中村家住宅洋館	東京都中野区	M後/T4移築	外壁は下見板張で、窓枠のペディメントや軒先の飾板なども、洋風意匠で丁寧にまとめる。	建築物 住宅	二

田村酒造酒造蔵	東京都福生市	文政5(1822)頃／ T7・T11増築	玉川上水沿いの敷地に建つ酒造場。酒造蔵は、南より切妻造の本蔵、中蔵、新蔵が連立し、本蔵南に煉瓦煙突が建つ大規模土蔵で、酒造蔵の拡張過程を良く伝える。前蔵は酒造場草創期の姿を留め、雑蔵と隣り合って建つ。玉川上水と敷地を区画する石垣や、旧水車小屋及び脇蔵も、併せて登録する。	建築物	産業2次	—
田村酒造前蔵		文政13(1830)		建築物	産業2次	—
田村酒造雑蔵		文久2(1862)		建築物	産業2次	—
田村酒造旧水車小屋及び脇蔵		S前		建築物	産業2次	—
田村酒造石垣		T後		工作物	産業2次	—
森田家住宅主屋	東京都あきる野市	E末／S48頃改修	森田家は近世に名主を務め、酒造も手がけた。主屋は、大通りに面した敷地の中央に建ち、正面中央に構える唐破風造の式台玄関は、妻面に二重虹梁を組む本格的な形式である。内部は、柱や差物に良材を使った重厚な軸部を構成し、トコなどの座敷飾も洗練されている。敷地正面の見世蔵は、1階西寄りを板敷のミセとし、道路側に揚戸をたてて開口部とする、店舗機能を備えた土蔵。前の蔵や味噌蔵、西蔵、旧米蔵といった、近世の屋敷構えを示す蔵も一連で残る。持仏堂である御看経堂は、土蔵造平屋建で、内部は手前が三畳の拝所、後方を仏壇構えとして虹梁をかける。私邸に残る近世の持仏堂として貴重である。また敷地前面では、風格ある構えの門や、それに連なる板塀が屋敷構えを整える。	建築物	住宅	—
森田家住宅見世蔵		嘉永5(1852)		建築物	住宅	—
森田家住宅前の蔵		嘉永5(1852)頃／ S58移築		建築物	住宅	—
森田家住宅味噌蔵		E末		建築物	住宅	—
森田家住宅西蔵		E末		建築物	住宅	—
森田家住宅旧米蔵		E末／H8改修		建築物	住宅	—
森田家住宅御看経堂		E末		建築物	住宅	—
森田家住宅門		E末		工作物	住宅	—
森田家住宅板塀		S初		工作物	住宅	—
榑亭本館	神奈川県鎌倉市	S4／S5・S44増築	もとは実業家の別荘として建築された。民家の古材を用い、洋間にステンドグラスを飾って、和洋の意匠を混交させる。山門は禅宗様意匠を取入れた四脚門。	建築物	住宅	二
榑亭山門		明和7(1770)／S6 移築		工作物	住宅	—
桔梗屋店蔵	神奈川県藤沢市	M44	桔梗屋は東海道藤沢宿で茶や紙の間屋を営んだ。土蔵造の店蔵は、黒漆喰仕上げで1階に重厚な観音開の土戸を吊るなど、優秀な左官技術を伝える。文庫蔵は当地で近世に遡る希少な遺例で、店蔵とともに東海道の宿場景観を伝える。	建築物	産業3次	—
桔梗屋主屋		M44頃／S初増築		建築物	産業3次	—
桔梗屋文庫蔵		文久元(1861)／ T14改修		建築物	産業3次	—
旧三鶯八郎右衛門家住宅主屋	神奈川県藤沢市	M11／S前改修	三鶯家は羽鳥村の名主を務めた。主屋の土間や板の間では、良材で柱や差物を堅牢に組む。また襖や透彫欄間、釘隠金具等の造作も入念で、格調高い室内意匠をもつ。正面に構える門や、それに接続する石塀が旧家の屋敷構えを形成する。	建築物	住宅	二
旧三鶯八郎右衛門家住宅門		M後		工作物	住宅	—
旧三鶯八郎右衛門家住宅石塀		M後		工作物	住宅	—
旧中島浄水場ポンプ室棟	新潟県長岡市	S2	ポンプ室棟は、中央の玄関ポーチ上に半円アーチを象るパラベットを立上げ、左右対称の立面に大オーダーを表し、重厚な外観をもつ。監視室棟もこれと調和した意匠とするが、予備発電機室棟は対照的に端正な立面とする。当地の水道史の発展を伝える施設。	建築物	生活関連	二
旧中島浄水場監視室棟		S2		建築物	生活関連	—
旧中島浄水場予備発電機室棟		S2／S37増築		建築物	生活関連	二
旧今井家住宅新館	新潟県三条市	M後	丸井今井百貨店創業者である今井藤七邸の、もと離れ。室内の造作が丁寧な近代和風住宅。	建築物	住宅	—
吉田家住宅主屋	新潟県柏崎市	M前／S後改修	通り土間沿いに居室4室を並べるなど、当地の伝統的な住宅形式を伝える。	建築物	住宅	—
北陸銀行本店	富山県富山市	S36／S48増築	重厚な構造ながら軽快な外観を構成し、富山市の戦後復興を象徴する大規模建築。	建築物	産業3次	—
旧大井百貨店(大井洋装店)	福井県越前市	S5頃	外観を装飾的な半円アーチや柱形、柱間の3連窓で飾り、当地の賑わいを物語る。	建築物	産業3次	—
福井鉄道北府駅本屋	福井県越前市	T13／H24改修	待合室と旧駅務室からなる標準的な形式の駅舎で、開業時の様相をよく伝える。	建築物	交通	—

寿屋対碧亭	福井県越前市	S6頃	縁廻りに障子をたて、茶室には円窓などを穿つ、開放的な構成の茅葺建物。	建築物	産業3次	—
丸山漆器店大谷石蔵	長野県塩尻市	S36	正面にペディメントを表し、階境に水切を廻らす。丁寧な施工になる大谷石蔵。	建築物	産業3次	—
旧ライシャワー一家別荘	長野県北佐久郡 軽井沢町	M後	軸部に丸太を使い、壁は杉皮張とする野趣豊かな構成で、軽井沢別荘の一類型を示す。	建築物	住宅	二
旧軽井沢ハウス(旧松方家別荘)	長野県北佐久郡 軽井沢町	S2頃	外壁は赤色の下見板張で、各面に窓を配置する。開放的で落ち着いた佇まいの別荘。	建築物	住宅	—
長良川鉄道美濃市駅本屋	岐阜県美濃市	T12/H7・H14改修	越美南線美濃町駅として開業した。本屋は西寄りを待合室とし、東側に事務室や休憩所を配するなど、大正期の官鉄駅舎の姿を今に伝える。古レールでつくった上屋を持つプラットホーム及び待合所を併せて登録する。	建築物	交通	—
長良川鉄道美濃市駅プラットホーム及び待合所		T12/S12・S29改修		建築物	交通	—
小林家住宅主屋	岐阜県不破郡垂井町	E末	中山道垂井宿の町家。2階正面は黒漆喰塗で虫籠窓を穿ち、袖うだつをあげる。	建築物	住宅	—
寛家住宅主屋	愛知県名古屋	E末/M初移築・M24増築	整型四間取の居室をもつ主体部は、主要構造に当地の近世民家の特徴を伝える。	建築物	住宅	—
日本福音ルーテル岡崎教会教会堂	愛知県岡崎市	S28	ヴォーリズ建築事務所による三廊式教会堂で、白壁と赤屋根のコントラストが映える。	建築物	宗教	二
旧愛知県岡崎師範学校武道場	愛知県岡崎市	T15/S41改修	外観に幾何意匠を表し、混構造トラスを採用するなど、先駆的な意匠、構造を試みた優品。	建築物	学校	二
喜楽亭	愛知県豊田市	S初/S58移築	2階に縁を廻らして開放し、妻の破風を起らせる瀟洒な外観で、老舗料亭の風情を伝える。	建築物	産業3次	二
龍泉寺本堂	愛知県新城市	文政3(1820)	山間地に所在する曹洞宗寺院。本堂は、内陣廻りに雲龍や唐獅子の彫刻を飾るなど華やかな意匠になり、背後には漆塗などで荘厳した開山堂及び位牌堂が取り付く。観音堂及び御茶堂では、簡素な建築ながら当地域における観音信仰の一端を伺い知ることができる。庫裏は、江戸末期の地方における禅院庫裏の一例を示す。境内の鐘楼も、ともに登録する。	建築物	宗教	—
龍泉寺開山堂及び位牌堂		S6		建築物	宗教	—
龍泉寺観音堂及び御茶堂		観音堂 文政5(1822) 御茶堂 S10		建築物	宗教	—
龍泉寺庫裏		天保14(1843)/H19改修		建築物	宗教	—
龍泉寺鐘楼		S30		工作物	宗教	—
八平神社本殿	愛知県新城市	元禄13(1700)/T7改修	間口一間の流造本殿。細部意匠に江戸中期の特徴を備え、当地域における小規模社殿の好例となる。本殿周囲の玉垣も併せて登録する。	建築物	宗教	—
八平神社玉垣		T7		工作物	宗教	—
瀧神社本殿	愛知県新城市	寛文12(1672)	一間社流造、こけら葺の社殿。海老虹梁の絵様等も時代相をよく示し、質が高い。	建築物	宗教	—
旧市川家住宅主屋	愛知県日進市	明和6(1769)	当地方の民家に特徴的な四つ建て工法の発達過程を示す。庄屋の格式を伝える大型民家。	建築物	住宅	—
鈴木家住宅主屋	三重県松阪市	M中/S45・H14改修	鈴木家は喜多村の屋号を持ち、明治期には村長を務め、大正頃から蜜柑栽培を手がける。主屋は鍵座敷型に室を配し、当地域の民家建築の様相を示す。建ちの高い土蔵が屋敷の正面構えを引き立て、納屋は当地方における蜜柑栽培の隆盛を伝える。	建築物	住宅	—
鈴木家住宅蔵		M16		建築物	住宅	—
鈴木家住宅納屋		M中/S前改修		建築物	住宅	—
神武参剣道場	三重県志摩市	S36	1階を祭壇付道場とし、正面中央に入母屋造の玄関を構える。風格ある外観の道場。	建築物	文化福祉	—

開化寺観音堂	三重県伊賀市	E後/M22・S11移築	観音堂は、細部意匠を凝らし時代的特徴をよく示している。三重塔は、軒や中備の形式が各重ごとに異なる、創意ある塔で、県下で稀少な三重塔。門は、立体的な彫刻を多用する装飾性豊かな表門である。	建築物	宗教	—
開化寺三重塔		T2		建築物	宗教	—
開化寺門		E末/M移築		工作物	宗教	—
朝日小学校円形校舎	三重県三重郡朝日町	S37/H15改修	円形平面の建築を多数手がけた坂本鹿名夫の設計になる、4階建て現役の円形校舎。	建築物	学校	三
本能寺本堂	京都府京都市	S3	法華宗本門流の本山寺院。本堂は日蓮宗系寺院本堂の標準的平面を示すが、広い内陣を確保するため、トラス組を用いて大スパンを実現する。細部は古典に忠実で、天沼俊一の設計として初期の大型仏堂。信長公廟所拝殿は復古的な要素を持つ開放的な建物。恭明宮から移築されたと伝わる門と併せて登録する。	建築物	宗教	二
本能寺信長公御廟所拝殿		S3頃		建築物	宗教	—
本能寺表門		M4/M12移築		工作物	宗教	—
久田家半床庵茶室	京都府京都市	M19	半床庵は一畳と台目畳二畳、中板と一畳の点前座を用いた茶室で、台目畳を独創的に使う三代宗全の作風を伝える。腰掛は大振りな蹲踞などととも豊かな露地空間を演出する。	建築物	住宅	二
久田家半床庵腰掛		M19		建築物	住宅	—
松本酒造大黒蔵	京都府京都市	T12	松本酒造は大正11年に伏見に移転し、新高瀬川の畔に構える。大黒蔵は桁行40mの土蔵3棟を東西に並べた大型の蔵で、北側には酒蔵ホールと吟醸酒蔵が建つ。大黒蔵南方の煉瓦倉庫や煙突、事務所は松本酒造の移転前からの施設である。いずれも良好な河岸の歴史的景観を形成しており、酒造場内の往時の面影を伝える。	建築物	産業2次	—
松本酒造酒蔵ホール		T13		建築物	産業2次	—
松本酒造吟醸酒蔵		T		建築物	産業2次	—
松本酒造煉瓦倉庫		M後/H23改修		建築物	産業2次	—
松本酒造事務所		T前		建築物	産業2次	—
松本酒造煉瓦煙突		M後/H12改修		工作物	産業2次	—
離宮八幡宮本殿	京都府乙訓郡大山崎町	S3	西国街道に面して境内を構える。本殿は京都府の技術者が設計を手がけた三間社流造社殿で、細部意匠を含め、全体を中世風の復古的な意匠でまとめている。本殿前面に建ち、両側に翼楼をのぼす拝殿、流造形式の高天宮神社、四脚門形式の中門などの境内建物も、木割が太く、本殿と調和した復古的な手法により設計されている。手水所や透塀なども良質な意匠で、洗練された境内景観を形成している。	建築物	宗教	二
離宮八幡宮拝殿		S3		建築物	宗教	二
離宮八幡宮高天宮神社		S3頃		建築物	宗教	二
離宮八幡宮中門		S3頃		工作物	宗教	二
離宮八幡宮手水所		S3頃		工作物	宗教	二
離宮八幡宮透塀		S3頃		工作物	宗教	二
西川家長屋	大阪府大阪市	M43頃	東西棟の六軒長屋で西端のみやや広い。かつて市内に多数建てられた長屋の風情を伝える。	建築物	住宅	—
横山家住宅主屋	大阪府高槻市	天保6(1835)/S46改修	旧高槻城下に唯一現存する近世郷宿の遺構で、主屋は1階正面に出格子をたて、2階は大壁造で軒先まで塗込め、格子窓を穿つ。隠居棟は通りから後退して建ち、内部は座敷や茶室を田字形に配し、造作は数寄屋風を加味する。隠居棟前庭を囲む門及び塀や、土蔵、納屋が風格ある屋敷景観をつくる。	建築物	住宅	—
横山家住宅隠居棟		M前		建築物	住宅	—
横山家住宅蔵		E末		建築物	住宅	—
横山家住宅納屋		E末		建築物	住宅	—
横山家住宅門及び塀		M前		工作物	住宅	—
坂井家住宅主屋	兵庫県神戸市	S前	主屋は中央壁の両側に2軒の2階建住宅を建てる形式で、左右対称からやや崩した平面および外観をもつ。敷地南北面にモルタル塗の塀を廻らせ、東棟門は鉄扉の上部を堅格子とし、頂部は曲線を組み合わせた形とする。当時の外国人向け賃貸住宅の好例である。	建築物	住宅	—
坂井家住宅北面東棟門及び塀		S前		工作物	住宅	—
坂井家住宅南面塀		S前		工作物	住宅	—
コヤノ美術館西脇館(旧藤井家住宅)主屋	兵庫県西脇市	M23	欄間彫刻などに近代的な趣向を凝らす、上質で開放的な近代和風建築。	建築物	住宅	—

花井家住宅主屋	兵庫県高砂市	M後/H23改修	つし2階の町家で、南正面に出格子を設け、2階に格子窓を並べる近代の商家。	建築物	住宅	一
松宗蔵	兵庫県高砂市	文政6(1823)/H19改修	堀川西岸に位置し、海陸物産を納めた蔵。舟運で栄えた高砂の面影を伝える。	建築物	住宅	一
大崎家住宅主屋	兵庫県高砂市	M後	正面に出格子をたて、出桁造で袖うだつをあげる。高砂町の近代町家の一典型。	建築物	住宅	一
ヒガシマル醤油元本社工場事務所及び圧搾場	兵庫県たつの市	事務所 E後 圧搾場 M中	江戸後期から大正期にかけて建てられた醤油醸造所の事務所や仕込蔵。事務所及び圧搾場は建ちの低いつし2階建てで、外壁は漆喰で軒先まで塗り込め、正面に虫籠窓を穿つ。原料庫及び仕込蔵は東面を水路に面し、街区の景観を整える。仕込蔵一の北棟は麴室となっており、製麴過程をよく示す。仕込蔵二や仕込蔵三などでは、仕込樽が隙間なく配置され、本瓦葺の屋根が醤油工場としての景観を創り出している。	建築物	産業2次	一
ヒガシマル醤油元本社工場原料庫及び仕込蔵		M中		建築物	産業2次	一
ヒガシマル醤油元本社工場仕込蔵一		M中		建築物	産業2次	一
ヒガシマル醤油元本社工場仕込蔵二		T		建築物	産業2次	一
ヒガシマル醤油元本社工場仕込蔵三		M中		建築物	産業2次	一
ヒガシマル醤油元本社工場仕込蔵及び雑品庫		M中		建築物	産業2次	一
木奥家住宅主屋		奈良県奈良市		寛政4(1792)/文政3(1820)・安政5(1858)・M増築	江戸後期の古座敷に順次増築を行って複雑な屋根形状を呈する、風格ある構えの大型町家。	建築物
和歌山県庁舎本館	和歌山県和歌山市	S13/H23改修	鉄筋コンクリート造4階建てで、タイル貼の外壁に2連アーチ窓を並べる県庁舎。	建築物	官公庁舎	二
寒川家住宅主屋	和歌山県日高郡日高川町	嘉永3(1850)頃/S53改修	寒川家は隣接する寒川神社の社家を代々務めてきた。茅葺屋根の主屋は、右手を土間として左手に座敷などを配し、社家らしく大型の神棚を備える。離れは瀟洒な座敷飾を備え、浴室や便所では天井の意匠を凝らす。土蔵が屋敷の景観を引き立て、敷地正面には間口の広い表門を構え、東西に塀と石垣が延びる。寒川神社での祭礼の際に出入りする小門も残り、山間地の農村景観に寄与している。	建築物	住宅	一
寒川家住宅離れ		T前/S前改修		建築物	住宅	一
寒川家住宅土蔵		M中		建築物	住宅	一
寒川家住宅表門		S12		工作物	住宅	一
寒川家住宅塀		S12		工作物	住宅	一
寒川家住宅小門		T後		工作物	住宅	一
寒川家住宅石垣		S前		工作物	住宅	一
興禅寺本堂	鳥取県鳥取市	文化11(1814)/M・T増築	もと藩主霊屋の由緒をもち、最奥の霊壇天井に花鳥等を彩画し華やかな意匠とする。	建築物	宗教	一
旧和泉家別邸	広島県尾道市	S8	和洋両館を接続し、変形敷地を巧みに利用して変化に富んだ屋根や立面を構成する。	建築物	住宅	一
みはらし亭	広島県尾道市	T12頃	高い石垣の上に建ち、変形平面を呈する。尾道水道を望む、もと料理旅館。	建築物	産業3次	一
株式会社日新林業加計出張所	広島県山県郡安芸太田町	T10/S41改修	つし2階建風の外観で、出桁造の軒まで塗籠とする旧銀行の店舗。	建築物	産業3次	一
護國寺清正公堂	山口県下関市	M30	清正公堂は複雑な屋根構成をもつ堂で、須弥壇中央に加藤清正像を祀る。外部は和様で、須弥壇廻りに禅宗様を取り入れる。納骨堂は鉄筋コンクリート造建築の古例で、外壁は化粧目地入モルタル塗とする。境内正面の門柱も併せて登録する。	建築物	宗教	一
護國寺納骨堂		T10/S6頃改修		建築物	宗教	一
護國寺門柱		M39		工作物	宗教	一
旧宮崎商館	山口県下関市	M40/S中・H20改修	アーチや窓枠、軒先の飾りなどの装飾を凝らし、豊かな表情を持つ煉瓦造商館。	建築物	産業3次	二

遠石八幡宮本殿	山口県周南市	S15/S30頃改修	本殿は三間社流造で庇の側面を前室風に囲む。拝殿は楼門の左右に翼部をのばし、当地の伝統的な社殿形式を再解釈した楼拝殿とし、幣殿で繋ぐ。祭器庫と神饌所は拝殿の奥に対称に配置し、拝殿翼部両端から本殿背後を透塙で囲む。拝殿の正面に四脚門形式の神門を建て、袖塙を付ける。また参道沿いに、四脚門形式の手水舎を建てる。内務省の角南隆が顧問を務め、稲垣英夫が設計を手がけた、上質な近代社殿群。	建築物	宗教	二
遠石八幡宮幣殿		S15/S30頃改修		建築物	宗教	二
遠石八幡宮拝殿		S15/S30頃改修		建築物	宗教	二
遠石八幡宮祭器庫		S15/S30頃改修		建築物	宗教	二
遠石八幡宮神饌所		S15/S30頃改修		建築物	宗教	二
遠石八幡宮透塙		S15/S30頃改修		工作物	宗教	二
遠石八幡宮神門及び袖塙		S15/S30頃改修		工作物	宗教	二
遠石八幡宮手水舎		S16/S30頃改修		工作物	宗教	一
宮處八幡宮本殿	香川県高松市	S11	本殿は側背面に廻らした縁に五手先の腰組を組み、軒を扇垂木とするなど、複雑な構成の細部を丁寧にまとめる。前面に接続する幣殿は、奥に本殿に昇段する木階を備え、拝殿は大型で風格ある構えを示す。末社護国神社本殿は小社ながら手の込んだ造作になる。独特な形式の注連柱とともに登録する。	建築物	宗教	一
宮處八幡宮拝殿及び幣殿		拝殿 M11 幣殿 M33		建築物	宗教	一
宮處八幡宮末社護国神社本殿		S11/S22移築		建築物	宗教	一
宮處八幡宮注連柱		T14		工作物	宗教	一
旭館	愛媛県喜多郡内子町	T15/S中改修	頂部に載せた六角平面の太鼓櫓が特徴的な、昭和前期の賑わいを伝える旧映画館。	建築物	産業3次	一
向野堅一記念館（旧讃井病院）	福岡県直方市	T11	L字形平面の隅部を塔屋とし、幾何学意匠で外観をまとめた、もと医院建築。	建築物	生活関連	一
直方谷尾美術館洋館（旧奥野医院）	福岡県直方市	S16頃/H改修	もと医院建築の洋館は、西洋古典様式とモダニズムを融合した外観をもつ。後方の和館は、対照的に落ち着いた佇まいの住宅である。敷地東奥の茶室は、東端に四畳半茶室を、手前に水屋、六畳の待合を直列させ、茶の湯を嗜んだ元院長の好みを伝える。	建築物	生活関連	一
直方谷尾美術館和館（旧奥野家住宅主屋）		S16頃/H改修		建築物	生活関連	一
直方谷尾美術館茶室（鉄牛庵）		S16頃		建築物	生活関連	一
前田園本店店舗	福岡県直方市	S2頃	通りに東面する店舗は、1階にケヤキの良材を用いたミセなどを配し、2階の正面は出桁造で壁を黒漆喰で仕上げる。近代直方の商家の様相を伝える店舗と倉庫。	建築物	産業3次	一
前田園本店倉庫		S2頃		建築物	産業3次	一
石原商店店舗	福岡県直方市	T15	中2階正面庇に小窓を連ねて3層構成の立面とする。良好な街路景観をつくる店舗。	建築物	産業3次	一
アーツスペース谷尾（旧十七銀行直方支店）	福岡県直方市	T2頃	外壁の煉瓦風タイルと石貼のコントラストが映えるもと銀行で、地域のランドマークとして親しまれる。	建築物	生活関連	一
天吹酒造主屋	佐賀県三養基郡みやき町	M中/M34改修, T増築, S後改修	江戸中期創業と伝える造酒屋。もとは、貯蔵庫（旧白米倉庫）に貯蔵した白米を蒸して、貯蔵庫（旧麹室）で麹をつくり、仕込蔵、瓶詰工場（旧仕込蔵）で仕込み、完成した清酒を地下貯蔵庫で貯蔵していた。敷地内には酒造蔵に附属していたイギリス積煉瓦造の煙突が残る。また伝統的な住宅形式を伝える主屋や、開放的な室内構成で、造作も瀟洒な離れ座敷といった居住部分や、従業員の賄い用に使われた蔵人用炊事場煙突など、酒造に関わる一連の施設が良好に残り、田園風景の中にある老舗酒造場における生業や生活の様相を伝える。	建築物	産業2次	一
天吹酒造離れ座敷		T/S中増築		建築物	産業2次	一
天吹酒造貯蔵庫（旧麹室）		T		建築物	産業2次	一
天吹酒造仕込蔵		M後		建築物	産業2次	一
天吹酒造地下貯蔵庫		T		建築物	産業2次	一
天吹酒造貯蔵庫（旧白米倉庫）		T6		建築物	産業2次	一
天吹酒造瓶詰工場（旧仕込蔵）		T12		建築物	産業2次	一
天吹酒造旧蔵人用炊事場煙突		M後/S後改修		工作物	産業2次	一
天吹酒造旧酒造蔵煙突		T		工作物	産業2次	一

永山家住宅主屋	長崎県平戸市	M37	もと回船問屋の住宅。主屋は正面の庇に繰形付の持送りを付すなど落ち着いた佇まいで、港町の景観に寄与する。海側に建つ隠居屋は、内部意匠の細工に趣向を凝らす。	建築物	住宅	—
永山家住宅隠居屋		M37		建築物	住宅	—
奈良家住宅主屋	宮崎県宮崎市	S初／S39移築	主屋は丁寧な造作になり、中心市街地の近代化を伝える店舗兼用住宅である。別棟は呉服店の従業員宿舎として建てられ、各所の欄間意匠など、室内造作も洗練されている。	建築物	住宅	—
奈良家住宅別棟		S10頃／S39移築		建築物	住宅	—

註

建設年代：Eは江戸，Mは明治，Tは大正，Sは昭和，Hは平成の略。

種別：土木は土木構造物，工作物はその他工作物の略。